

地球環境のために



富士通グループの環境活動

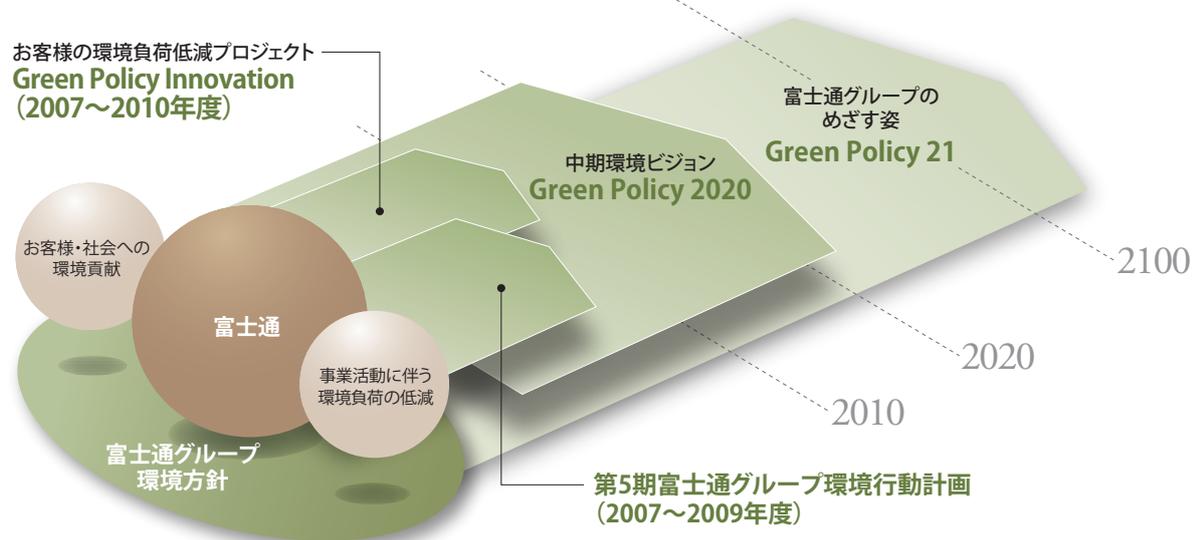
富士通グループは、FUJITSU Wayの企業指針に掲げた「社会に貢献し地球環境を守ります」に基づき、美しい地球環境が次の世代へと受け継がれるよう、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけています。

こうした考えのもと、事業の独自性を反映させた環境経営を推進するために「富士通グループ環境方針」を定めています。また、環境コンセプト「Green Policy 21」、2020年を

ターゲットとする中期環境ビジョン「Green Policy 2020」、具体的な目標を明確にした「第5期富士通グループ環境行動計画」を策定するとともに、グリーンITの提供を通じてお客様・社会の環境負荷低減をめざす「Green Policy Innovation」を推進しています。

これらの方針・目標などを通じて、全事業領域にわたり計画的かつ継続的に活動を展開し、自社の環境負荷低減に努めるとともに、お客様・社会の環境負荷低減に貢献していきます。

富士通グループの環境活動体系



環境コンセプト「Green Policy 21」

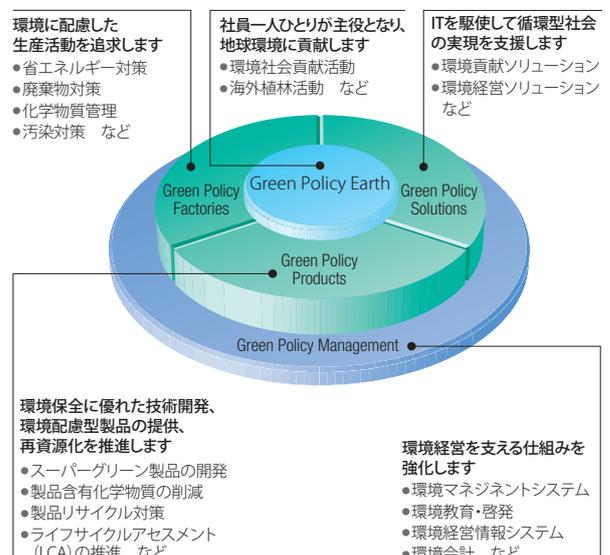
富士通の創業以来の「自然と共生するものづくり」という考え方をグループ全社員に浸透させ、日々の業務における実践を促すために、単なる意思表明を越える行動コンセプトとして明記したものが「Green Policy 21」です。

「すべてをグリーンにします」をスローガンとして掲げ、このコンセプトをあらゆる事業領域で実践しています。

Green Policy 21では、地球規模の環境活動を「Green Policy Earth」と名づけて中核に据え、これを実現するための具体的な活動を「Green Policy Products」「Green Policy Factories」「Green Policy Solutions」、さらに、これらの活動を支える仕組みを「Green Policy Management」と位置づけています。

WEB 環境コンセプト「Green Policy 21」
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/approach/concept/>

すべてをグリーンにします



環境保全に優れた技術開発、環境配慮型製品の提供、再資源化を推進します

- スーパーグリーン製品の開発
- 製品含有化学物質の削減
- 製品リサイクル対策
- ライフサイクルアセスメント (LCA) の推進 など

環境経営を支える仕組みを強化します

- 環境マネジメントシステム
- 環境教育・啓発
- 環境経営情報システム
- 環境会計 など

富士通グループ環境方針

リオ・デ・ジャネイロ地球サミットで「アジェンダ21※」が採択された1992年に、前年に経団連が発表した「地球環境憲章」に準じて「富士通環境憲章」を策定しました。また、アジェンダ21のより効果的な実施を議論するヨハネスブルグ・サミットが開催された2002年10月には、環境問題が多様化し、環境経営が重要度を増している状況を踏まえ、富士通グループの事業の独自性を反映させた環境経営を推進するために、それまでの富士通環境憲章を「富士通グループ環境方針」へと改訂しました。

※ アジェンダ21

「持続可能な開発」の実現のために各国・国際機関が実行すべき具体的な行動計画。人口、貧困、居住問題などの社会的・経済的問題、大気、土、森林、砂漠化、農業、生物多様性、水、有害廃棄物・化学物質など環境問題についての対応プログラムなどを示している。

WEB 富士通グループ環境方針
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/approach/policy/>

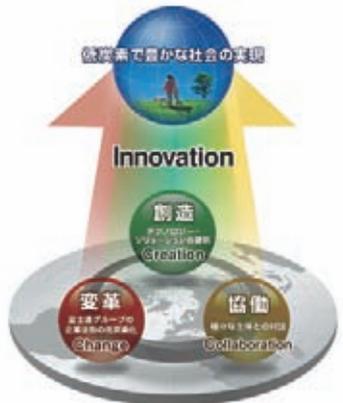
中期環境ビジョン「Green Policy 2020」

地球環境問題の解決に向けて2020年をターゲットに、富士通グループが果たすべき役割と方向性を示したのが、中期環境ビジョン「Green Policy 2020」です。本ビジョンは、「創造」「協働」「変革」をキーワードに、ITの提供により、自らと社会の環境イノベーションを起こすことで、低炭素で豊かな社会の実現をめざすものです。

また、3つの目標として「お客様・社会全体への貢献（2020年に国内で年間約3,000万トンのCO₂排出量の削減に貢献）」「自らの変革」「生物多様性の保全」を掲げており、本ビジョンの達成に向けて、継続的に活動を推進していきます。

WEB 中期環境ビジョン「Green Policy 2020」
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/approach/vision/>

中期環境ビジョン「Green Policy 2020」のコンセプト



第5期富士通グループ環境行動計画

富士通グループでは、環境方針に則り、環境経営を強化していくための具体的な目標として「第5期富士通グループ環境行動計画（2007～2009年度）」を策定し、この計画に沿った環境活動を推進しています（P45参照）。

WEB 第5期富士通グループ環境行動計画
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/management/plan/stage5.html>

お客様の環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」

富士通グループは、2007年12月、富士通グループがもつノウハウやテクノロジーを活かして「ITインフラの環境負荷低減」と「IT活用による環境負荷低減」の両面からグリーンITへの取り組みを強力に推進し、お客様の環境負荷を低減するプロジェクト「Green Policy Innovation」を開始しました。

このプロジェクトを通じて、2007年度から2010年度の4年間で累計700万トン以上のCO₂排出量削減をめざします（P10-17参照）。

WEB グリーンITによる環境負荷低減プロジェクト
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/green-it/>

環境活動のあゆみ

- 1935年 ● 川崎工場建設時、初代吉村社長の提言により庭園様式を取り入れる
- 1938年 ● 川崎工場竣工
- 1972年 ● 各工場に環境管理課設置
- 1989年 ● 環境対策委員会発足
- 1991年 ● 環境技術推進センター発足
- 1992年 ● 富士通環境憲章制定
- 1993年 ● 第1期富士通環境行動計画策定
- 1997年 ● 国内全製造工場にてISO14001認証取得完了
- 2000年 ● 環境本部発足
- 2002年 ● 富士通グループ環境方針制定
- 2006年 ● 海外グループ会社を含めたISO14001のグローバル統合認証を取得
- 2007年 ● 第5期富士通グループ環境行動計画策定
● グリーンITによるお客様の環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」をスタート
- 2008年 ● 中期環境ビジョン「Green Policy 2020」策定